

# 島根県立 吉賀高等学校

小さな学校で、  
大きな夢を。

Y O S H I K A  
H i g h S c h o o l

学校案内 2023

# 個性と感性を磨く、学び舎



## 地域に暮らして、豊かな生き方を考える

日本屈指の清流・高津川の源流があり、豊かな自然に囲まれた吉賀町。清流の上流にあるからこそ自然を大切に生きようという地域の人々の想いがあります。吉賀高校はそうした吉賀町にある唯一の高校。地域の子どもたちと全国から真の豊かさを求める子どもたちが一つの小さな学校に集まって、勉強やスポーツに、生き生きとした毎日を過ごしています。そして、地域の人々は子どもたちを温かく見守り、応援しています。  
—— 吉賀高校は吉賀町と共に生きる高校です。



## 吉賀地域中高一貫教育＋ 全国から真の豊かさを求める生徒たち

吉賀地域は、町内の3つの中学校と連携する中高一貫教育（連携型）の高校です。そして、平成27年度から、町外・県外からの生徒の受け入れを積極的に始めました。  
県内の吉賀町以外、また全国から新たな吉賀生が着実に増えています。

## サクラマスプロジェクト

サクラマスは、サケ科の魚ですが、川で誕生した後、海に下って大きく成長し、やがて川に戻ってきます。  
吉賀町は、保・小・中・高が連携して町全体で、「サクラマスプロジェクト」に取り組んでいます。令和2年度より第二期を迎え  
『地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる生徒』  
『地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う生徒』  
『地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる生徒』  
『地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける生徒』の育成を目指しています。  
また、川を町内とするなら、海は広く日本国中を、あるいは世界を意味し、地域や全国から人がこの地に集うプロジェクトとしてさらなる広がりをすすめています。

# 夢への途は、ここにある



入学式



県高校総体



文化祭



体育祭



遠足



東京研修



中高合同ロードレース



田んぼの生き物調査

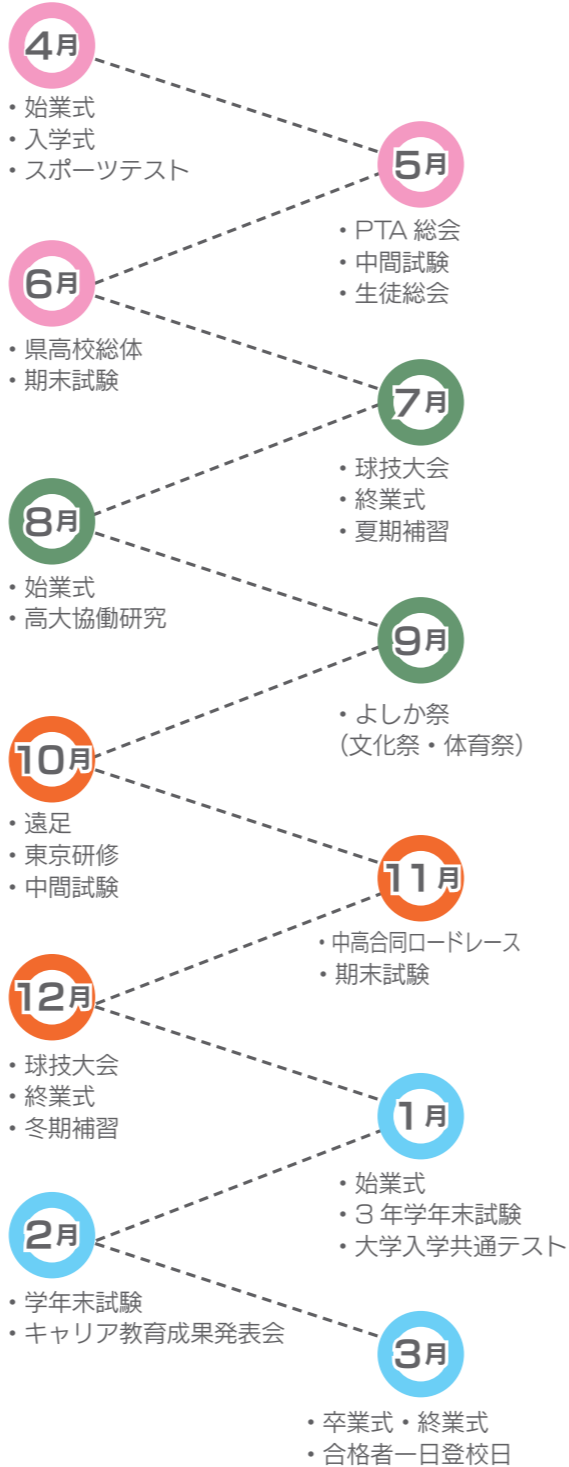


吉賀町フェアでの販売



吉高ライスバーガー

## 年間行事



## 学習クラウドサービス「スタディサプリ」採用

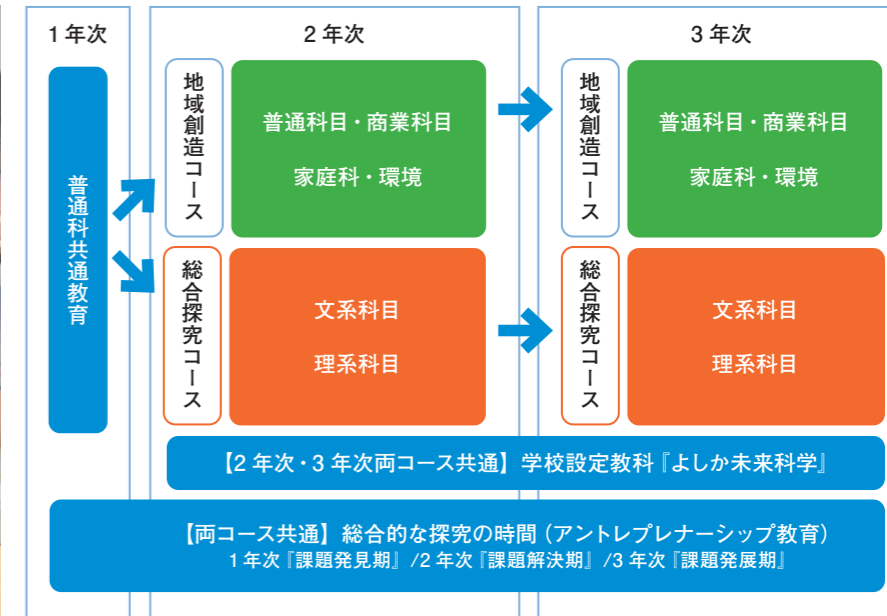
本校ではインターネットを利用して、普通の授業や生徒指導などをサポートするため「スタディサプリ」というサービスを導入しています。スマートフォンやタブレット、パソコンなどを利用して学習環境を広げ、家庭学習の効率化を図っています。自分の都合に合わせて、苦手分野や予習・復習したい分野を、小学校の内容から高校の内容まで自由に視聴することができるので、基礎学力の向上につながります。

新型コロナウイルス感染防止に係る臨時休業期間中では、生徒の体調管理や、生徒からの質問等の対応も行いました。



## 少人数指導

授業は、1年次から英・数・国を中心に習熟度別に行っています。さらに、2年生からは進路希望によって2つのコース（コース選択図参照）に分かれます。そして、希望者を対象に個別添削指導にも力を入れていて、少人数指導で学力の向上と進路実現を支援しています。英語や数学がずっと苦手だった生徒が、少人数クラスの授業の中で学ぶ楽しさを知ります。大学進学をめざす生徒には、進路に合わせた指導を行います。



## 公設塾「よしか塾NEXT」

高校と一体になって吉高生の進路実現を支援する、吉賀町設立の公設塾です。自学自習のサポートの他、勉強方法の相談を受けることや、学習計画を一緒に立てることも行っています。

塾のスタッフが高校の授業のアシスタントを務めるなど連携して吉高生の学びを支えています。



# 自分の可能性が見つかる

キャリア  
教育



## 吉賀高校 サクラマスプロジェクト グランドデザイン

1. 地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
  2. 地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
  3. 地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる
  4. 地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける
- 吉賀高校では、生徒のキャリア形成に資するため、保小中高とつながる吉賀町サクラマスプロジェクトと連動し、上記4つの力を身につけられるような取り組みを行っています。普段の学習活動や、学校行事、進路活動に加え、アントレプレナーシップ教育などを通じて、吉賀町をフィールドとして、吉賀町の「人・もの・こと」とのコミュニケーションをとりながら、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現する力を身につけていきます。



## 1年生：アントレプレナーシップ教育【課題発見期】 + 東京研修

アントレプレナーとは、「起業家」を意味します。「起業家精神に学ぶ」をテーマとして、「無から有を創り出す精神」を学びます。そして、1年次を「課題発見期」と位置づけ、地域の方に学びながら、地域の課題について探究します。

10月の東京研修では、東京で生活する大学生とコラボレーションします。グループワークや企業訪問を通じて都市の生活を探究すると共に、地方と都市の関係性について考え、自分たちの生まれ育った町・自分たちが暮らす町を見つめ直します。



## 2年生：アントレプレナーシップ教育【課題解決期】

2年生のアントレプレナーシップ教育では、1年次に学んだ吉賀町の魅力や課題をもとに、「未来を創る」プロジェクトを本格的にスタートさせます。「未来を創る」プロジェクトとは、①「こうなってほしい未来」をイメージし、②個人またはチームで吉賀町の人々とともに行動を起こし、③現実を動かすための挑戦をすることによって、「未来を創る」取り組みです。この「願って、作って、動かす」というプロセスを通して、「自分自身の未来を創る力」を育みます。地元の方と直にふれあひながらのディスカッションや主体的なアクションを大切に、地域貢献の意識を高め、思考力・表現力・コミュニケーション能力などを磨いていきます。



## 3年生：アントレプレナーシップ教育【課題発展期】

豊富な体験学習の経験を基に、自らのキャリア形成に取り組みます。自分の進路を考え、希望を実現する上で、「無から有を創り出す」起業家精神が存分に活かされます。さらに、アントレプレナーシップ教育の集大成として、ボランティア活動や研究発表等、個別のプロジェクトを推進します。

昨年度は「サクラマスとーく!!」と題し、高校生と吉賀町内の小学生が一緒になって、自分のキャリアや今後の将来像について語り合いました。

例えば、アントレプレナーシップ教育の成果発表会。吉賀高校では、全員がプレゼンを行います。小規模校だからこそ、全員が主役になるのです。授業でも、行事でも、部活動でも、全員に何らかの活躍の場が与えられます。人間の可能性は、挑戦してみなければわかりません。一人ひとりが、自分の可能性を発見し、成長していく。吉賀高校はそんな学校です。



## 吉高生は、全員が地域クラブ員

吉高生は、全員が地域クラブ員であり、地域の様々な行事に、運営側として参加します。『よしか夢・花マラソン』、『田んぼの生き物調査』、『七力祭』、『きん祭みん祭農業文化祭』・・・いろいろな行事で運営体験やボランティア体験を積み、生きる力を伸ばしながら、地域の方とふれあひます。

## 環境教育

2・3年次の学校設定教科『よしか未来科学』では、森・川・海、それぞれの専門家から、フィールドワークを交えながら、日本有数の清流・高津川流域を始めとした環境問題について学びます。

また、地域クラブでも特別チームを組み、課外活動として、地域の環境問題について調査研究を行っています。



「アントレプレナーシップ教育」、「地域クラブ」、「環境教育」、そして学習や行事や部活動・・・  
吉賀高校は、学校でのすべての活動が生徒のキャリア発達につながると考えています。それが、「小さな学校で大きな夢を!」の具体であり、「サクラマスプロジェクト吉賀高校グランドデザイン」に描かれています。

# 自分を磨くさらなるステージへ



## 合格先一覧

## 令和3年度卒業生進路状況

◎進路状況 (令和4年3月31日現在)

進学：大学 14名 専修 8名

就職：8名



### ◎4年制大学【国公立】

- ・東京学芸大学・金沢大学・山口大学
- ・大分大学・島根大学(2)・国際教養大学・島根県立大学

### ◎4年制大学【私立】

- ・大正大学・津田塾大学・帝京平成大学・法政大学・南山大学
- ・京都産業大学・関西外国語大学・関西学院大学・神戸学院大学
- ・神戸女子大学・広島経済大学・広島工業大学・広島修道大学
- ・安田女子大学・令和健康科学大学・九州産業大学
- ・立命館アジア太平洋大学

### ◎専修学校等

- ・島根リハビリテーション学院・岡山医療福祉専門学校・岡山理科大学専門学校・大村美容ファッション専門学校・広島会計学院ビジネス専門学校・広島自動車専門学校・広島酔心調理製菓専門学校(調理・製菓)
- ・島根県立西部高等技術校

### ◎就職(民間)・公務員

- ・マツダ株式会社・山崎製パン株式会社・第一建設株式会社・日本郵便株式会社
- ・島根県・吉賀町(2)・益田広域消防本部(2)



## 2022年春 卒業生 合格体験記

### 意義のある3年間

私は法政大学にキャリア体験自己推薦で合格しました。志望したきっかけは、高大協働研究でこの大学の学生の方と関わり、魅力を感じたことです。また、吉賀高校で過ごすうちに、コミュニティや中高生のキャリア形成に興味を持ったことも志望の理由になりました。

試験に向けて高校の先生方には充実したサポートをして頂きました。面接

練習では様々な視点から意見を下さりました。また、小論文対策として毎日のように添削指導を受けましたが、私の弱点を補うようなアドバイスを頂きました。その結果、本番では自信を持って試験を受けることができました。ただ、本番での自信は試験前の対策だけのおかげではないと思っています。吉賀高校では、アントレプレナーシップの授業において、自分自身について

吉井 美咲 法政大学キャリアデザイン学部

見つめ、活動を振り返り、それを発表する機会が多く設けられています。こうした時間の積み重ねや、地域連携における体験が合格に繋がったと感じています。受験というのは大きな不安が伴いますが、吉賀高校での3年間で、その不安は少しのワクワクに変わるかもしれません。そんな3年間になるよう、応援しています。



### 学業と部活動の両立

私は実は3年の7月まで文理選択で悩んでいました。そんな時に多くの先生方に相談に乗っていただき、国公立の経済学部を目指すことに決めました。また私はサッカー部に所属し、10月下旬にある選手権大会まで部活動を続けました。総体で辞めることも考えましたが、悔いを残さないために選手権にも出場し、大学も絶対合格しようと覚悟を決めて、両立に励みました。

毎日6時半まで部活をし、そのあと塾で9時まで勉強し、帰ってもまた勉強をする生活はとて大変でした。模試でもなかなか思うような結果が出せず、勉強しなくなったり暗い気持ちになることもたくさんありました。でも一緒に一般選抜まで受験する友だちの姿や、周りの人からの温かい言葉、先生方のサポートのおかげで辛い勉強も頑張ることができました。そして、共通テストで

米原 侑汰 大分大学経済学部

は、緊張しすぎて上手くいかなかった科目もありましたが、自己最高点を出すことができ、二次試験も数学で頑張りが、無事に合格できました。

吉賀高校は小さな学校だからこそ、先生方との距離が近く、とても良い環境で学ぶことができます。その強みを活かして、後輩の皆さんもぜひ最後まで頑張ってください。



### 諦めない気持ち

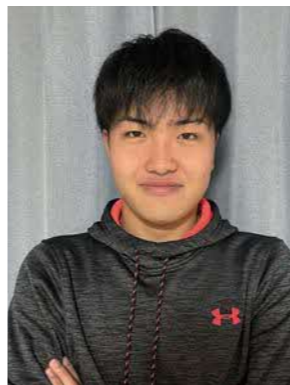
私は消防士の採用試験に合格しました。私は以前から公務員試験を受けようと思い、サッカー部と両立して合格を目指しました。たくさんある公務員の中でも消防士を選んだのは、地域の方々に役に立ちたいと思ったからです。

先生方からのアドバイスもあり教養試験、適性試験など過去の問題集を問いたり、面接の練習もたくさんしました。クラス友達の進路や就職先が徐々に決まってくる中で焦った時期も

ありましたが、今できることをやろうと決め、試験に備えました。同じ試験を受けた人たちは、皆さんやる気をもって素晴らしい人たちばかりで、自分が受かるか不安になってしまいましたが、今日までにやってきたことを信じ、サッカー部で培った体力に自信をもって受けました。合格通知が届いたときはとても嬉しかったです。合格した仲間とはすぐ仲良くなり、1つの夢に向かって頑張ろうと誓い合いました。

田中 陸士 益田広域消防員

不安になっても周りにはたくさんの方々と親身になってくださる先生方がいることを絶対に忘れてください。そして最後は自分との戦いです。自分を信じる心や諦めない気持ちを持つことが大切だと思っています。どんな夢でもいつか必ず叶うと信じて日々努力して頑張ってください。応援しています。



### 私の進路選択

私は、特に夢もなく進路も曖昧でした。進学でも就職でも自分の好きなことや興味を生かせる仕事に就きたいと思っていたので、先生から今の就職先を勧められたときは楽しそうな仕事という印象でした。実際に工場見学にも参加し、工場内を見て回ると社内の雰囲気も良く、自分もやりたいと思い就職を決めました。決めると次は面接練習に入り、自分の思いや持っている力を伝えるのは難しく悩みました。悩んだ

ときに先生方や友達からアドバイスをもらい、初めは薄かった内容も厚く話せるようになりました。また、高校生活で力を入れていたアントレプレナーシップ教育についても、この活動を通して自分はどういう力を得て、今後どう生かそうと思っているかということも相手に伝えられるようになりました。練習の甲斐あって、本番はあまり緊張せず、自分の気持ちを伝えることができ、見事内定をいただきました。このよう

河村 日南 山崎製パン株式会社

な結果になったのも、手厚く指導してくださった先生方や、吉賀高校で出会った友達のおかげだと思います。自分の進路を見つけ実現するためには自分一人の力ではなく、先生や友達に相談し、自分にないものを補っていくことが大切だと思います。残りの高校生活を楽しくみつづつ、自分のやりたいことや興味を見つけつつ過ごしてください。これからも応援しています。



# 自身を、マインドを磨く、部活動

少数精鋭の部活動は、新たな自分の可能性を発見するチャンスです。  
また小規模校ながら文化系のクラブも多彩で、生徒はいきいきと部活動に励んでいます。



## サッカー部（男子）

吉高サッカー部は素晴らしいサッカーファミリーと共に、「将来、日本のサッカー文化に携わることのできる footballer」を目指して日々活動しています。



## ソフトテニス部（男子・女子）

私たちの目標は、中国大会出場です。これからも地域の方により報告ができるように精一杯頑張りたいと思います。応援よろしくお祈りします。



## バレーボール部（女子）

部員が高い意識を持ち、高いレベルを求め活気ある練習を行っています。地域とのつながりを大切に、応援していただけるようなチームを目指して頑張っていきます。



## 陸上競技部（男子・女子）

「0.1秒でも速く走る」「1cmでも多く跳ぶ」・・・こんなシンプルでいて、とても難しい目標を乗り越えようと、生活の中の1つ1つの取り組みを大切にしながら、日々努力を重ねて活動しています。



## バレーボール部（男子）

“石見地区優勝”を目標に、基礎・基本を大切に一生懸命頑張っています。「感謝」と「楽しむ」をキーワードに恩返しできるように精一杯取り組んでいます。

吉高生全員が地域クラブ員です。その中のリーダーを中心に、地域のイベントでのボランティア活動や、ライスバーガーの制作・販売を行っています。近年では、アントレともコラボしながら様々な活動を展開しています。さらに環境問題に特化した環境チームや、eスポーツ分野、硬式テニスなど活躍の幅を広げています。今後も多くの出会いや経験を通して、地域活性化に貢献していきます。



## 音楽部

バンド演奏を中心に、地域のお祭りや学校行事などで発表する場があり、地域の方々のご指導ご支援のもと活動しています。



## 美術部

絵画や粘土、針金などの立体作品など色々な作品に取り組んでいます。とても楽しく活動しており、各自が納得のいく作品を制作するため頑張っています。



## 茶道部

学校でのお点前のお稽古だけでなく、茶畑の見学やお茶づくり体験など、幅広く活動しています。楽しく、気軽に日本の伝統文化を学ぶことができます。



## 写真部

「撮りたいときに、撮りたいだけ撮る」を方針に掲げ、活動しています。初心者が多い中、コンクールや高校写真展においては入賞もあり日々成長を続けています。



## 華道部

毎回楽しくお花を生けています。生けた後は、自宅や学校に飾ります。水切りなどの専門的な技術や、お花の形を活かした活け方を学びながら、センスを磨いています。



## 文芸部

俳句や詩、小説など自分で好きな作品を創作します。週に2、3回、図書室に集まって各自創作活動を行い、その時に情報交換や作品の鑑賞もします。作品は自分の好きな時に家でも作る事ができるので、自分のスタイルに合わせた活動ができます。

## 地域クラブ



## 環境



## 硬式テニス



## eスポーツ

# 合言葉は、吉高に「よし！行こう」

# 小さな学校で大きな夢を！

校長 小林 三高

## 新入生からのメッセージ

岩崎 碧 [兵庫県出身・湊翔楠中]

吉賀高校は本当に小さな学校です。ですが、小さな学校だからこそできることをいくつか見つけました。1つめは、先生との距離が近く、勉強などがはかどるということです。授業後、質問に行ってもすぐ対応して下さります。先輩や地域の方と話す機会も多いので、毎日楽しく、コミュニケーションを取るのが上手くなったような気がします。2つめは、1人1人の役割がしっかりあるという点です。掃除も当番制ではなく皆が行います。自分だけ仕事がないということはなく、責任を持ちしっかり人のために行動できるようになります。吉賀高校に来て良かったと私は思っています。ぜひ来てください。待っています！



手島 弘太郎 [東京都出身・本郷台中]

吉賀高校に入って1ヶ月が経ちました。毎日が楽しく1ヶ月経ったことが信じられないくらいです。吉賀高校のいいところは学校の雰囲気です。とても和気藹々としており、過ごしやすく感じます。また、私自身はまだ体験しておりませんが、自然を活かした環境教育も良いところだと思います。そして、アントレプレナーシップ教育は、私がこの吉賀高校を選んだ決め手といえます。まだ具体的には何をやるか決まっていますが楽しんでいきたいです。吉賀町には様々な地域行事があります。それらにも積極的に取り組み頑張っていきたいです。最後に吉賀町に来ることができとても幸せです。



岩本 理沙 [浜田市出身・浜田市立第二中]

吉賀高校の良いところはたくさんありますが、特に人との関わりが多く、社会に出たときに必要な力を伸ばすことができるというのが魅力的なところだと思います。他校ではできない体験ができるので、今から楽しみです。私の学校生活の様子は、かなりバタバタしていますが、とても1日が早く、クラスの皆と一体となって真剣に勉強をしたり、雰囲気の良いクラスです！先輩方も優しく声をかけて下さったり、学校のことを教えて下さったりと優しい先輩方ばかりです。そして、吉賀高校で頑張りたいことは余裕をもって行動することです。まだ学校生活にも慣れていなくて時間がギリギリで過ごしているので、余裕を持って行動し、来年に入学してくる1年生に頼れるかっこいい先輩だと思われるように1日1日を大切に楽しみながら頑張っていきたいです。



水村 莉子 [吉賀町出身・吉賀中]

吉賀高校の良いところは、アントレプレナーシップ教育を通して自分の将来の夢に必要な力を身につけることができることだと思います。私はこの間、先輩のアントレに参加しました。生徒があんなに素晴らしい企画を立てていたの、私は驚いたし感動しました。自分たちで吉賀町の問題を見つけ、それを解決するための企画を立てていたのですごくいいと思いました。だから私もそのような先輩たちのように地域との関わりを通して様々なことを学び、様々な力を身につけていきたい。また、アントレだけでなく勉強もしっかり頑張っていきたいです。高校は社会人になったり、これからの人生の一手前だと思えますので、日々の授業だったり家での学習を毎日コツコツと頑張りたいと思います。このあつという間の3年間の毎日を充実したものにできるよう様々なことに挑戦していきたいと思います。



清流日本一の高津川の源流の町・吉賀町にある吉賀高校は、開校以来74年の伝統を築き、およそ4500名の卒業生を社会に送り出してきました。吉賀町内の3中学校(柿木・吉賀・六日市中学校)と連携型の中高一貫教育を行っていること、そして県外からの生徒募集を積極的に行っていることが本校の大きな特徴です。今春は、35名の新入生(そのうち県外生10名)を迎えました。2年生31名、3年生38名と合わせて104名(そのうち県外生22名)の生徒で今年度をスタートしています。

吉賀高校は、1学年1クラスの小さな学校ですが、「小さな学校で大きな夢を！」を合言葉に、小さな学校だからできること(生徒一人ひとりに役割があり、生徒一人ひとりにスポットライトが当たる教育)を大切に、一人ひとりの夢が実現できるように、教育活動に取り組んでいます。

吉賀町からの支援も絶大で、町外・県外からの入学生の寄宿舎と



なる町営の「サクラマス交流センター」が設置されており、全室個室(バス・トイレ付き)、そして地元の有機食材をふんだんに使った食事という恵まれた環境の中で、町外・県外からの生徒も落ち着いた生活を送ることができています。また学校とセンターに近接して公設塾『よしか塾 NEXT』があり、1~3年生の希望者全員が、高校の授業進度や各種テストとも連携して指導を受けることができます。その他にもバス通学補助や部活動遠征のための振興会バスなど、吉賀町から多大な支援をいただいています。吉賀高校は、「小さな学校」ではありますが、吉賀町と一体となることで、大きな学校と遜色のない教育環境となっています。

吉賀高校は「小さな学校」での経験を通じて、すべての生徒が「大きな夢」を見つけ・育て・実現することができる学校を目指しています。



サクラマスコーディネーター 坂田 紀之

美しい自然と温かい人に囲まれた、小さな学校の元気いっぱいの生徒たち。生徒たちと一緒に地域のことを考え、ふるさと吉賀町を心に抱き、大きく育てていくお手伝いをします。



モニュメント「翔」

正門左にあり「東京スカイツリー」のデザインを手掛け、令和2年に文化勲章を受賞された吉賀町名誉町民澄川喜一氏により、吉賀創立50周年記念として制作されました。校章のモチーフである若鮎を力強くシャープに表現しています。



サクラマスコーディネーター 岩下 静華

島根県内外から集まり、吉賀町で出会った吉賀高校生徒のみなさんと過ごす時間は、私にとってもおもしろく、楽しい時間です。みなさんの高校3年間の充実した時間になるように、地域社会と学校を結びながら、そして一緒に楽しみながら生徒のみなさんの活動をサポートしていきます。



## 学校沿革

- 昭和 23 年 島根県立益田農林高等学校七日市分校および柿木分校として設置認可(定時制課程) 七日市村役場の1部を仮校舎として開校。
- 昭和 38 年 島根県立益田産業高等学校より分離独立し、島根県立吉賀高等学校および同校柿木分校として設置  
校歌制定・作詞は当時松江南高等学校長の本島俊太郎先生、作曲は島根大学の森山俊雄教授  
若鮎をデザインした校章制定
- 昭和 47 年 校訓碑建立、学校庭園完成
- 昭和 48 年 寄宿舎竣工「盛岳寮」と命名
- 平成 2 年 校舎竣工式、創立40周年記念式典挙行、バラ園造成
- 平成 9 年 制服改定(本年入学生より学年進行)  
海外研修旅行(シンガポール) 決定
- 平成 13 年 屋内運動場竣工

- 平成 13 年 創立50周年モニュメント設置  
中高一貫教育(連携型) 本格導入(対吉賀中学校)
- 平成 15 年 中高一貫教育(連携型) 本格導入(対蔵木中学校・六日市中学校)
- 平成 18 年 中高一貫教育(連携型) 本格導入(対柿木中学校)
- 平成 23 年 サクラマスプロジェクト開始
- 平成 24 年 1年生東京研修開始
- 平成 27 年 キャリア教育成果発表会開始
- 平成 28 年 全国高校生自然環境サミット in 吉賀 開催  
全日本ユース(U-18) フットサル大会出場  
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会出場
- 平成 29 年 サクラマス交流センター竣工  
公設塾「よしか塾 NEXT」開設

# 吉賀町の力強い支援



吉賀高校は地域の学校として吉賀町や多くの組織から力強いバックアップを受けています。また、寮機能を重点とした「サクラマス交流センター」や、吉高生の進路実現の支援のための公設塾「よしか塾 NEXT」を開設。  
 中山間地の魅力ある高校のために、住環境や学習支援をさらに充実させています。

## 吉高支援室

吉賀町役場総務課内に吉高支援室が設置されています。高校と連携して、物心両面で吉賀高校の教育活動を支えます。

## 公設塾「よしか塾 NEXT」

吉賀高校と一体となって、吉高生の進路実現を支援します。

## バス通学補助

路線バスを利用して通学している吉高生の希望者に回数券を補助しています。バス通学の費用はかかりません。

## 「吉高線」の運行

部活が終了する時間帯に路線バスの運行がないために、吉賀町の働きかけで吉高線が運行されています。

◎19：20吉高前発

(冬季は19：00発)

◎六日市方面と柿木方面の2路線

・基本的にできるだけ自宅近くまで送り届けます。

## 吉賀高校振興会・振興会バス

部活動の遠征等では、振興会バスを利用することができます。バス運行経費、補修費、運転手の賃金、宿泊費等は、ほとんど振興会を通して町が負担します。その他、進路指導や生徒活動も振興会が支援しています。

## 東京研修補助

3泊4日の東京研修のために、町からたくさんの補助をいただいています。

## キャリア教育・地域クラブへの協力

吉賀高校のキャリア教育や地域クラブの活動は、吉賀町の町民の皆さんの協力によって成り立っています。

## サクラマスコーディネーター

吉賀高校のコーディネーターは、町の職員です。

## 吉賀町の子育て支援

吉賀町では、高校への支援の他に、平成27年度から給食費・保育料が完全無償化されました。そして吉賀町の住民であれば、医療費も高校卒業まで全額助成されます。

## 人工芝サッカーグラウンド「よしかみらい」

サッカー部は日頃の部活動で、町営のサッカーグラウンドを使用させていただいています。



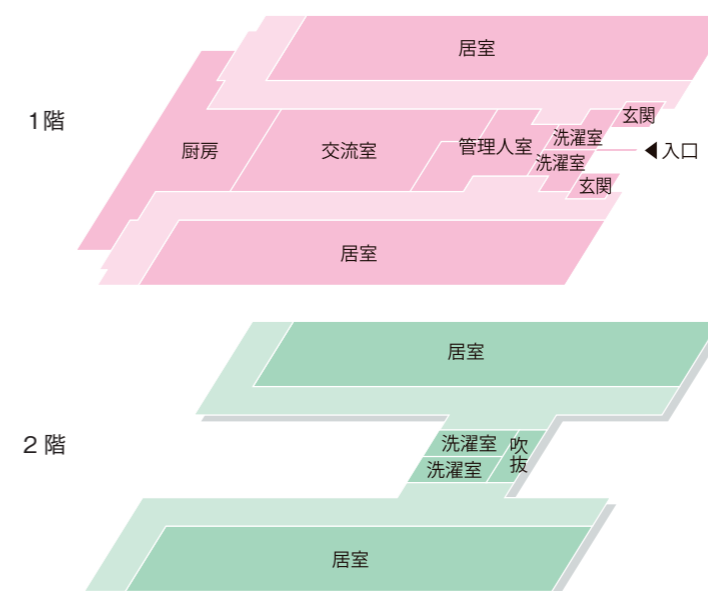
# サクラマス交流センター

吉賀町が運営する、町外・県外生のための宿泊施設です。



## 交流室

交流室は、食堂も兼ねています。学習時には、交流室で学習することもできます。



## 全室個室 (16室×2)

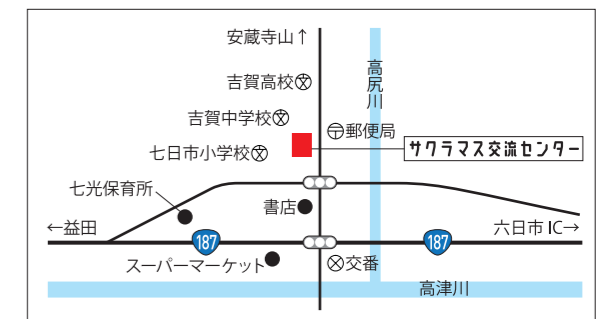
全ての部屋が個室で、バス・トイレ付きです。ロフト形式のベッドがあり、学習机、椅子、クローゼットも備え付けです。

## 費用

舎費 月額¥33,000 + 水道・光熱費

食事 1日3食(昼食は弁当)

※くわしくは吉賀高校ホームページにて







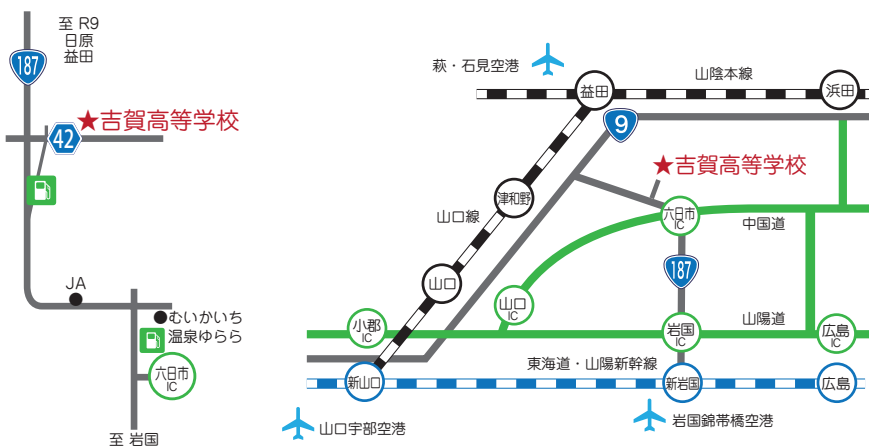
## 島根県立 吉賀高等学校

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市 937 番地

TEL.0856-78-0029 FAX.0856-78-0742

E-mail yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp

ホームページ <http://www.yoshika.ed.jp>



シンボルツリー「めたせこいあ」

昭和 29 年に本校柔剣道場横に植樹され、分校時代や吉賀高校として独立後の歴史を見してきました。まっすぐにまっすぐに成長する学校のシンボルです。